

事業報告書（第9期）

令和4年10月1日から

令和5年9月30日まで

I 概要

- (1) 当社団法人は前年度に引き続き、企画運営委員会傘下の二つの検討部会（まちづくり検討部会、安全・安心検討部会）では、2ヵ月に1回のペースで会議を開催して、各検討部会関連の情報の収集・共有を進め、各検討部会の課題について具体的な解決策を検討致しました。
- (2) 今般、「新木場まちづくりNEWS Vol. 1」の発行に伴い、当社団法人のホームページを更新することと致しました。今後、継続的な運営のために、Webサイト委員会（委員長／森林慎介）を設置して組織的に検討すると共に、メンテナンスを専門業者【(株)レフティーズデジタルワークス】に委託することと致しました。
- (3) 『一般社団法人新木場再開発コンソーシアム』は、設立後17年の長きに亘り、「新木場の将来像」の研究を重ね、新木場の地権者の「新木場の再開発」に対する関心を高めることに貢献してきましたが、ここにきて、その役割を十分に果たしたとして令和5年10月に解散を決議致しました。これに伴い、当社団法人の事業活動をサポートするために派遣して頂いたアドバイザーは、今後、当社団法人が研究員として抱え、引き続き、各検討部会の事業活動をサポートして頂きます。

II 各検討部会の事業報告

(1) まちづくり検討部会

座長及び構成委員（敬称略、順不同）

座長：青木 慶一郎、座長補佐：森林 慎介

委員：江間 壮一、向殿 長敏、飯島 義雄、伊東 龍一、坂田 和哉
瀧口 宇一郎、西林 長太郎、豊田 信一

- ①令和5年3月に『新木場まちづくりNEWS Vol. 1』を作成し、社員の皆様に配布致しました。

『新木場まちづくりNEWS Vol. 1』は江東区の『江東区都市計画マスタープラン2022』と東京都の『東京ベイeSGまちづくり戦略2022』に対して、当社団法人がパブリックコメント（意見募集）した内容を取り纏めたものです。『江東区都市計画マスタープラン』の最終版にはこのコメント（新木場におけるまちづくりの3つのコンセプトとビジュアルイメージ）を念頭においた表現が加えられており、今後、新木場においてまちづくりが進んでいく契機と捉えております。

②『飲食店舗の充実』の検討：

2022年に「安全・安心検討部会」が実施した新木場地域の事業者・従業員へのアンケートで改善要望の高い項目の内、『飲食店舗の充実』と『新木場の域内交通』の項目について、まちづくり検討部会に移管されました。『飲食店舗の充実』については以下の通り、検討しております。

i) アンケート結果の詳細確認と飲食店舗の実態調査：

・アンケート結果の詳細確認：

ニーズの高い順に並べると、「店舗数の増加」、「昼食環境の改善」「立地、区画の位置」の順でありました。

・飲食機能の現状：

新木場地域の飲食店舗は駅前に集中しており、飲食店舗の業態は定食、そば・うどん・ラーメン等の麺類、牛丼等が多く、偏りが見られます。

コロナ禍以降、飲食店舗の採算は厳しく、新規出店には慎重になっています。

・飲食・キッチンカー業者へのヒアリングした処、専門業者も新木場の需要を計りかねています。

ii) 現時点での今後の対応：

検討対象をキッチン業者に絞り、地権者協議会に資金負担が生じない『キッチン業者のテスト販売』の具体的な条件を煮詰め、実施に向け検討中です。

(2) 安全・安心検討部会：

座長及び構成委員（敬称略、順不同）

座長：井上 弘之

委員：氷室 晃、東司 陽介、宮本 章、若林、延行、河合 信一郎、菊地 寛、清水 啓雄、奥村 永徳、小泉 勝、浅沼 昭仁。

本年度の事業計画を定めるため、新木場の事業者・従業員にアンケートを実施した結果、優先順位の高い『ゴミ問題等』と『防災・セキュリティ問題』の二項目に絞り、検討することと致しました。『新木場域内の交通手段の充実』と『飲食施設の充実』の二項目についてはまちづくり検討部会に移管して検討頂くことと致しました。

①ゴミ問題等：

i) 現状の調査結果：

安全・安心検討部会の委員数名とアドバイザーとして起用した専門業者とで新木場地域のゴミの散乱状態を調査致しました結果、ゴミ（ペットボトルを含めて）の散乱状態はそれほど酷くはありません

でした。ここ3～4年は新木場の各事業会社が、ご自身の前面道路を定期的に清掃した形跡があり、全般的に綺麗な状態となっておりました。

ii) 当初の構想：

当初、安全・安心検討部会の構想では、ゴミ散乱（タバコの吸い殻、ペットボトル、空き缶等）しているバス停を中心に分別ゴミのゴミ箱を設置し、新木場の大規模ビルの清掃業者にゴミの回収を依頼する計画を検討致しましたが、起用した専門業者によればゴミ回収業者は、①当該ゴミの回収は、特定依頼者からの発注であること②ゴミはペットボトル、缶、ビンとにきちんと分別されていること③ペットボトル等の中に異物が入っている場合、ゴミ回収業者は回収しないこと等のアドバイスがあり、当初の構想の実現は困難という判断に至りました。

②防災・セキュリティ問題：

当初、防災・セキュリティについて、新木場地域に監視カメラを設定する計画を検討致しましたが、設定場所、設定後の運用・メンテナンスの民間での実行は障壁が高いことから断念し、現在は新木場地域の歩道の街灯を充実させるべく、先ずは、街灯の設置状況を担当ごとに分担して調査中です。折しも、江東区土木部施設保全課が、新木場の幹線道路に設置済みの街灯のLED化工事の為、新木場一丁目から既存街灯の解体撤去が着手されましたので、早急に江東区土木部に報告、打合せに行くべく、この調査結果の取り纏めを急いでいます。

③江東区／都市整備部の並木雅登様を招いての講演会の開催：

i) 開催日時：令和5年3月9日（木）15：00～16:30

ii) 開催場所：新木場センタービル2階 新木場ホール

iii) テーマ：『新木場地区の将来を考える』

～東京臨海部におけるインフラ整備計画（鉄道・道路）を中心として～

iv) 講師：並木雅登様（江東区都市整備部地下鉄8号線事業推進室長）

Ⅲ当社団法人の社員参加状況:

令和5年9月30日現在

社員 160名

以上

事業計画（第10期）

令和5年10月1日から

令和6年9月30日まで

企画運営委員会傘下の二つの検討部会では本年度の計画を次の通り定め、相互に連携しながら具体的な活動を展開していきます。次に、事業報告書で説明の通り、『一般社団法人新木場再開発コンソーシアム』の解散に伴い、当社団法人で研究員を抱え、各検討部会の事業活動を継続してサポートして頂きます。

1. まちづくり検討部会 令和6年度 事業計画：

- ①『飲食施設の充実』の検討を継続して進め、キッチンカー事業者の新木場地域でのテスト販売の実施。（実施時期：令和6年1月予定）
前記テスト販売の結果次第で次のステップへの検討を行う。
- ②『新木場地域での交通手段の充実』について実態調査の開始、バス運行者等へのヒアリングを開始
- ③江東区所有の新木場2丁目の土地（旧リサイクルセンター）の利用計画の提案
- ④新木場の貯木場の民有護岸の状況調査の検討：

2. 安全・安心検討部会 令和6年度 事業計画：

- ①前期において担当者別に調査した『新木場地域の街灯の設置状況』を取り纏め、その資料を基に、江東区土木部と事前打合せを行う。
- ②江東区土木部に対する『新木場地域の歩道の街灯整備のお願い』の手順の確認

以上